

財団職員同窓会通信

今年も「第5回総会」が無事に終了しました。
多くの皆様にご参加いただきましたが、残念ながらご欠席
の皆様にも、今回は「総会・懇親会特集」として当日の様子
をお伝えしますので、ぜひお楽しみ下さい。



No. 18 2012年 11月

今年の同窓会総会報告

朝からの暑い雲間に陽が指し始めた11月3日（土）、午前11時半から東京・原宿の「レストランテベニーレ」で、職員同窓会の第5回総会が開催されました。

会員76名にご来賓3名を加えた総勢79名での盛会で、広い会場は終始和やかな雰囲気になりました。

総会は同窓会設立以来、会長として粉骨砕身の努力を続けてこられた岡部千尋さん
のご挨拶からスタート。

会員の皆さんのご支援に感謝の意を表された後、ご自身の勇退を発表され、新会長
に就任される酒井 勉さんにバトンタッチされました。

新会長の酒井さんからは、設立からの岡部さんに対する慰労の言葉と共に「今後も
同窓会の発展のために努力したい」との宣言があり、参加者の皆さんからは新旧両
会長に対する拍手が贈られました。

ご来賓／村田常務理事のご挨拶



続いて、財団現役職員を代表して常務理事の村田雅宏さんから来賓のご挨拶をいただきましたが、その中では
日経ビジネスの“世界に誇るべき日本の製品”として、ヤマハの「グランドピアノ」「船外機」に並んで「音楽
教室」が取り上げられていたとのご報告があり、音楽教室の基礎を築き、その成長に努力して来られた同窓生
の皆さんには、感慨深いものがあったと思います。

長年努力を続けて来られた会員の皆さんも感慨深げでした。

また、同じく来賓としてご来場いただいた東日本ヤマハOB会副会長の内田耕三さんからは、5周年を迎えた
ことに対するお祝いと、今後の更なる発展を祈念するとのご挨拶を頂戴しました。

ご承知のように、財団法人ヤマハ音楽振興会本部と東日本ヤマハOB会は、同窓会活動に有形無形のご支援を
頂戴していますが、この場をお借りして、改めて会員の皆様にもご報告申し上げる次第です。

ご来賓のご挨拶の後、事務局連絡として今年度の同窓会事務局メンバー15名を紹介させていただきました
が、皆様は後述の文面にてご確認ください。

今年、米寿を迎えられた金原さんの乾杯音頭



会の前半の総会部分最後は、昨年に引き続いて参加者全員での記念撮影に…。

雲間から時折陽が指すテラスで、賑やかに集合写真撮影を行いました。

この写真は、参加者の皆様に終宴時にお持ち帰りいただくという、昨年から導入
した画期的なシステムですが、残念ながら欠席された皆様も、この同窓会通信の
写真コーナーでご覧下さい。

懐かしい顔がたくさん見つかることと思います。

撮影後、席に戻ったところで、いよいよ懇親会がスタート！

冒頭、同窓会メンバーの中でも大先輩である金原善徳さんに乾杯の音頭をお願い
しましたが、ここで金原さんと同期入社である鱸 眞次さんにもご登壇いただき
ました。

実はこのお二人、今年何と卒寿（90歳）を迎えられるということで“大先輩揃い踏み”となり、参加者全員
から暖かいお祝いの拍手をお贈りした次第。

鱸さんのご挨拶の中で「二人が同期で入社した時は、まだ川上嘉市氏（日本楽器製造株式会社第3代社長）の
時代だった」という一言には、長い歳月の流れを感じずにはいられませんでした。

こうした大先輩の皆様にも、ますますお元気で過ごしていただきたいものです。

親睦会の様子は、裏面に続きます。

同窓会総会では毎年、様々な特技を持つ会員の方々に作品の展示をお願いしていますが、今回も“財団職員の多芸多才ぶり”を証明する展示が行われました。

お一人目は「会場の一隅に出店が…」と思わせるような多量の手作りパンを展示下さった井上（旧姓／榎本）純子さん。

趣味のケーキ作りから発展したパン作りとのことですが、出来栄は完全にプロ！

但し「ウチの家族は、私も含めてパンは食べません」というオチが会場の笑いを誘いました。

絵画では、柚木道夫さんのバラをモチーフにした作品2点と、今年、新規会員になられた中江（旧姓／奥村）加津子さんの油絵2点が会場に彩りを加えて下さいました。

柚木さんと中江さんの絵画作品



更に、写真では、事務局の岡部千尋さん、生駒芳正さんのお二人に加え、砂間（旧姓／佐藤）巴美さんの作品も展示されました。

同窓生の中には女性カメラマンもいらっしまったのですね～。

また、こうした会員作品だけでなく、今回は財団本部から発掘した“昔むかしの写真”も展示されました。懐かしい慰安会のスナップなどで、皆さん熱心にご覧になっていたものの、中には「あまりに若過ぎて誰だか判らない！」という感想や「どうしても名前が出て来ない…」という、ちょっと寂しい感想もありました。これらのスナップは終宴時、ご希望の方にプレゼント。

もしかしたら“懂れていたアノ人”の写真をコッソリとお持ち帰りの方がいたかもしれませんね。（笑）

因みに、事務局からは現在活動中の「ゴルフ同好会」「テニス同好会」の模様をお知らせする写真、個別活動として開催された「なごや会」「広島会」「大地農園ツアー」の写真も掲示させていただきました。

次回は更に多くの同好会活動や、個別活動の様子をご紹介しますので、ぜひ首都圏以外にお住まいの皆さんも同窓会活動の一環として、お仲間との楽しい会合を企画してみてください。

回を重ねる度に内容も充実し、この報告も長文化していますが今回の最大の特徴は、遠隔地からご参加下さった方が多かったことだと思います。

札幌から石井益雄さん、橋本伸雄さん、福島から國頭永浩さん、浜松から鱸 眞次さん、仙台から三神 徹さん、大阪から水谷正義さんと6名もの方々が駆けつけて下さいました。

いつも「東京は遠くて…」とのご意見をお寄せいただく方には本当に申し訳ありませんが、来年こそは意を決して足をお運びいただければ幸いです。



お店の心づくしの美味しい食事とお酒、コッキーポップの懐かしい映像が流れる中、出席者の方々の楽しげなお話の中には、まだまだご紹介したいエピソードもたくさんありましたが、今年の第5回総会は原 和男さんの岡部前会長に対する感謝の言葉と、全員による一本締めで午後2時過ぎに終宴となりました。

例年同様、お互いの健康を祈り、再会を期し、いつまでも名残惜しそうな様子は、正に“祭りの後の寂しさ”に似たものがありましたが、皆さんがこうした人生の繋がりを感じられるのも、同じヤマハ音楽振興会というステージで苦労を共にしたからこそ…。

事務局スタッフ一同も「ぜひまた来年も頑張ろう！」という気持ちを新たにして、帰路につきました。

ご参加いただいた皆様、そして、残念ながらご欠席となった皆様も、ぜひまた来年お目にかかりたいとの想いをお伝えして、今年の総会のご報告とさせていただきます。



第5回職員同窓会を終えて

今年も皆様と元気にお会い出来ました事を嬉しく思います。

今回ご案内しました方は総数307名（これが現在会員在籍数ということになります）が、総会の参加者は会員76名、来賓3名を含めて79名となりました。

5年前、現在の事務局の一部の方々が発起人となり「財団に在任中、苦楽を共にした人々との出会いが絆となり思い出として残ったものが、その人の退職後にそのまま時間が過ぎ、風化していくのが惜しい。何とか残せないか？」そんな思いから皆様に呼びかけ、発足した職員同窓会でした。

この原点に向かって5年間、同窓会運営と今後の在り方などについて、事務局スタッフが試行錯誤しながら積み上げた成果が実現しつつあるという感触を感じています。

それは、昨年に引き続いて作成した「一言メッセージ集」にも現れていると思います。

今回、同封しましたので皆様にもゆっくりお読みいただけたと思いますが、私は総会の前、一足先に皆様のメッセージを読ませていただきました。

昨年は「職員同窓会に出られることは私の健康のバロメーター」と書かれた方がいらっしゃいました。

今日、私自身が実感をもってこの言葉を噛み締めております。

また、今年のメッセージ集の中にあった「今なお心の故郷は財団です。財団での数々の出会いは、かけがいのない私の宝物です」との言葉、そして「同窓会通信を楽しみしている」との多くの皆様からの言葉…。

これらが、前述の試行錯誤の一つの成果ではないかと思えます。

私はこの5年目を節目に、会長を退任することに致しました。

後任には、事務局の推薦により酒井 勉氏に就任していただきました。

今日に至るまでの同窓会の運営は、会員の皆様のご理解とご協力、財団本部及び東日本ヤマハOB会のご支援、そして、熱意と情熱をもって活動していただいている事務局各位あってこそ…と考えております。

改めて御礼申し上げます。

5年間、会長として微力ながらも会の運営に携れたことを嬉しく思っておりますが、今後は一会員として職員同窓会の今後益々の発展を祈る次第です。本当にありがとうございました。



同窓会総会に参加して

これは、今回の第5回同窓会総会に参加された一部の方から寄せられた感想です。ここからも同窓会の雰囲気伝われば幸いです。

1. 初めて参加された方

橋本伸雄さん

今回初めて同窓会に参加させていただきました。

懐かしいお顔についつい時間の経過を忘れ、現役時代に戻った様な気持ちになりました。

同窓会は、そんなタイムマシンの機能を持っているようです。

毎回参加させていただいて、若返りたいと思います。同窓会の益々のご発展を祈っております。

小生は、今年設立した「福祉の会」の発展のために札幌で頑張っ参ります。



中江（旧姓／奥村）加津子さん

私は、今年の8月で定年退職し、ついに同窓会に仲間入りすることができました。
同窓会について、毎年盛大に行われているということは聞いていましたが、どのような雰囲気なのかは想像がつかず、少し緊張して会場に入りました。
懐かしい方ばかりで、ご挨拶しているうちに雰囲気にも馴染むことができました。諸先輩方も皆様お元気ではつらつとなさっていて「見習わなければ…」と思いました。



会場内には昔の懐かしい写真など、いろいろと展示されていて、見学したり食事したり、皆さんとお話したりしていると、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

初めて参加した同窓会でしたが、十分に楽しむことができました。
また、今回は自作の油絵を展示していただきました。自分の気に入っている作品を多くの方に見ていただけて、大変嬉しく思っています。

2. 第1回から5回まで毎回参加されている「皆勤賞」の方

鈴木 宣義さん

毎年、同窓会を楽しみにしています。
財団で一緒に過ごした皆様とお会いして、現役の頃や、それぞれの今の様子についてよもやま話をする事で、元気をもらうことができるだけでなく、これからの過ごし方の上で参考になることが多いです。
また、財団の今の様子を知ることができるのも魅力です。これからも永く続くと嬉しいです。スタッフの皆様には大いに感謝しています。



松本 美知さん

ヤマハでの人との出会いは私の財産です。
優しく、気の良い楽しい人たちがばかりで、人との関係でイヤな想いをしたことはありませんでした。
財団を辞めてからいくつかの職場で働き、それが珍しいことなんだということがわかりました。
同窓会は、懐かしい方々と再会できる良い機会です、毎年楽しませていただいています。
ただ最近、女性の参加者が少なくなっているようで残念です…。
次回はちょっと力を入れて、声掛けをしようかなあ〜と思った今年の会でした。
幹事の方々のお骨折りにはいつも感謝しています。



一番手前が松本さん

以上、今回の同窓会通信は「第5回総会・懇親会」特集としてお送りしましたので、その他の情報はお休みとさせていただきますが、同封の「一言メッセージ集」も併せて様々なお仲間のことを思い出していただき、懐かしいひとときをお過ごしいただければ幸いです。

また、「ゴルフ同好会」「テニス同好会」も活動を続けておりますので、こちらの情報は次回同窓会通信でお届けする予定です。

いよいよ今年も残すところ1ヶ月半となりましたが、同窓生の皆様、どうぞ風邪などひかないように気をつけて、素敵な年末、年始をお過ごし下さい！

※ 訂正とお詫び 同封の「一言メッセージ集」の中で4人目の安斎眞司さんの田舎が福岡県となっていますが「福島県」の誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

